令和５年９月　№345

学　校　だ　よ　り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地２丁目13番１号

新しい時代を創る子どもたち

校長 佐藤 興二

暑い夏がまだまだ続きそうな中、2学期が始まりました。この夏の間、子どもたちはたくさんの経験を積み、大きく成長したことと思います。これからの子どもたちの学校生活が楽しみです。

107年ぶりの優勝から

2023「夏の甲子園」全国高校野球選手権大会では、高校球児たちの熱い戦いが繰り広げられ、慶応高校が107年ぶりの優勝で幕を閉じました。107年ぶりの優勝ということも話題になりましたが、それ以外にも、自由な髪形に象徴される従来のスタイルにとらわれない「エンジョイ・ベースボール」で頂点をつかんだことも話題になりました。この「エンジョイ・ベースボール」の精神は、前監督が個々に楽しむ野球をめざし、「野球は上から押しつけるものではない」として、監督の指示が絶対とされた考え方で、今も引き継がれ、結果を出したのです。

出場した選手たちに丸刈りはおらず、メジャーリーガーの大谷選手のように、髪をかき上げる選手の姿が何度も映し出されました。過去には「長髪はけしからん」と抗議もあったそうです。試合後、大村昊澄（そらと）主将は「高校野球の常識を変えたいと言って、笑われることもあったけれど、日本一になると頑張ってきた。つらい思いが全部報われたと思う瞬間だった」と胸を張ってインタビューに答えていました。この姿を見て、子どもたちが新しい時代を創り上げたのだなと感じた人も多かったと思います。

新たな時代を創る担い手となるために

様々な活動の中で大切にしたいのは、子どもたちの主体性です。学校生活においても、これまでの事を、大人からただ言われたとおりに学習・活動して、知識を得、経験を増やすという時代から、子ども自身が主体的に関わり、楽しみながら新たな価値を見つけていく時代へと変化しています。この主体性こそが、新しい時代を創造する原動力となります。

私たち大人は、子どもたちの主体性や感性に柔軟に対応していくためには、まず子どもたちの声を聞くことです。大人も他者意識をもち、子どもの立場に立って物事を考えられるかが大きな分岐点となります。

2学期は、大きな行事があります。6年生を中心として、子どもたちが創る行事にしていきたいと思います。京橋築地の子どもたちが新たな時代を創る担い手となれるよう、2学期も教職員一同、しっかり支援していきたいと思います。

９月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	金	始業式　特別時程　４時間授業
2	土	
3	日	
4	月	特別支援教室指導始　給食始　委員会 身体測定(2)
5	火	身体測定(1)
6	水	
7	木	安全指導　なわとびday　夏休み作品展始 身体測定(3，4，6)
8	金	水泳指導終　身体測定(5) 水道キャラバン(4)
9	土	土曜授業　道徳地区公開講座 夏休み作品展終　３時間授業
10	日	
11	月	クラブ
12	火	
13	水	避難訓練　研究日　４時間授業
14	木	縦割り班遊び
15	金	保護者会(全)　特別時程 本栖移動教室保護者説明会(6)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	研究日　４年１組以外は４時間授業
20	水	
21	木	集会(集会委員会)　美術鑑賞(5)
22	金	特認校保護者説明会　５時間授業
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	特別時程
27	水	
28	木	
29	金	京築スポーツday前日準備　４時間授業
30	土	

館山臨海学校のようす

７月２８日（金）から３０日（日）の２泊３日で、館山臨海学校に行ってきました。今回で２回目の６年生は「５年生をリードする」ことを意識して、３日間を過ごしました。

１日目は水泳班ごとに分かれ、時間泳に向けた練習をしました。浜に出かける前は、初めての５年生に対して、どのように準備をしたよいかを優しく教えていました。浜に到着すると水泳班ごとに分かれて、初めての練習を行いました。プールと違って波のある海での泳ぎは、普段のようにいかず戸惑う様子も見られましたが、徐々に慣れていきました。夕食後は、全員で海ほたるの観察をしました。ここ数年でめっきりと数を減らした海ほたる。その原因が、人間にあることを教わって、便利になった生活がいかに自然に影響を与えているか考えさせられました。海ほたるが一斉に光り輝いたときの綺麗さは、言葉には表せられないものでした。

２日目は、いよいよ時間泳本番です。午前中は、時間泳に向けて、どの水泳班も真剣に練習しました。いよいよ午後になり、時間泳が始まりました。ＰＴＡの方々や仲間の声援を後押しに、１５分・３０分・４５分のめあてに向かって泳ぎました。ゴールをくぐって、浜に上がってきた子は、とても充実した表情をしていました。夕食後に外を見ると、富士山に夕日が沈み、時間泳を泳ぎ切ったご褒美のようでした。夜は、生活班ごとに花火をしたり、星空観賞をしたりしました。都会ではなかなかできない手持ち花火。一本一本を大切にして、楽しんでいました。

３日目は、生活班ごとに協力して砂浜芸術祭をしました。５・６年生が協力しながら、思い思いの素敵な作品を作っていました。

３日間を通して、最高学年として５年生を引っ張ること、仲間と協力することを学ぶことができました。特に、昨年はコロナ禍だったのでマスクや私語などの制限がありましたが、今年はコロナによる制限も緩和し、大いに楽しんでいました。また一つ、夏休みの良い思い出を作ることができました。ご協力したいただいた PTA の皆様、温かく見守っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。